

■超音波式レベルセンサ

この超音波式レベルセンサは、センサヘッドより発せられる超音波が空気中を伝播して、物体に当たると反射する物理現象をとらえ、忠実に距離測定を行いレベルの制御、警報用接点を提供する制御器です。

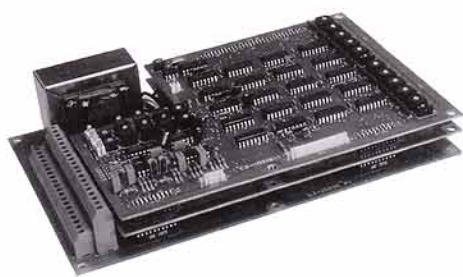
特に粘度の高いインキパンのレベル制御用に開発した製品で、無接触方式ですからセンサヘッドの汚れや、インキ面の保守などにセンサが邪魔にならず、オペレーターの操作性を充分配慮した構造となっています。

他の超音波式センサと比較して、超音波の発信ビーム角が小さく、鋭い指向性を持たせていますので、隣接する物体や雑音に対し強く、安定した特性を示します。

検出距離を40~190mmと短くして他の超音波式センサと差別化しており、信号を新方式の電子回路によるデジタル処理で温度ドリフトを小さく、分解能を1mmと高くして、高精度の測定を可能にしました。

MUT-9008(N)

(250×160×60)



(3ch×2回路)+コントロール基板
入力 AC100V、200V

MUT-3003

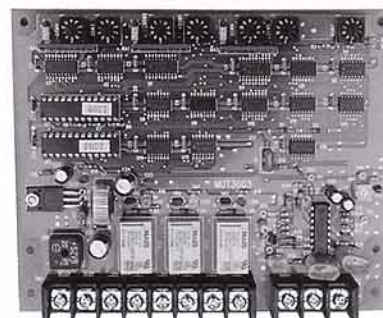
(150×120×40)



3ch アナログ基板
入力 AC100V

DUT-303

(150×120×20)



3ch デジタル基板
入力 DC12V

MUT-3001

(50×80×100)



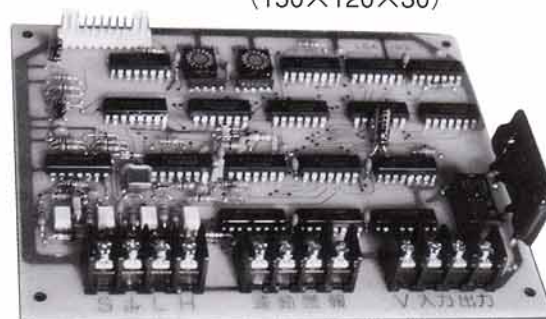
1ch プラグイン式
入力 AC100V、200V

新聞印刷用輪転機のインキ自動供給装置として開発した、センサとICによる制御回路を同一基盤に実装した画期的なコントローラです。

特に輪転機に必要な表示用、自動、手動切換用、連動用信号を提供し、操作性を重視した製品です。

LCA-H3

(150×120×30)



IC コントロール基板
入力 AC100V

最新技術が生んだ印刷機械のパートナー

1色用



1-9008N

2色用



2-3003

4色用



4-3003

4色用×2



8-3001

“ツール” 感覚の手軽さで確実なレベル検出を可能にしました



通常インキ壺の中に溜めるインキは、紙面の着色部によって2分割から4分割にされます。分割の方法は、“セパレータブロック”を壺の中に入れて行っています。当“センサブロック”は、そのセパレータブロックの隣に接地し、マグネットキャッチャーと新しい発想による接触式インキセンサと組み合わせて使用します。

1 ch 静電式レベルセンサ (CAPASEN)

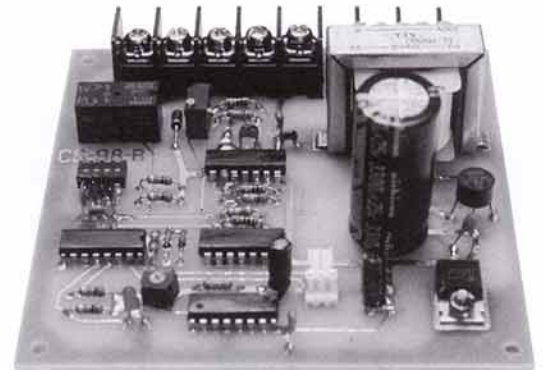


プラグイン式



プローブ

新しい発想による静電容量式、接触インキセンサ、従来のチャージ式ブリッジ式における欠点を解決させた画期的電子回路をもつ変換器です。



基板式

静電容量式 (セパレート型)

振動のある場所、感度調整のしにくい場所に御使用下さい。

〔標準仕様〕

- 電源電圧 AC 100 / 200 V ± 10 % 50 / 60 Hz
- 消費電力 約 3 VA
- 動作感度 0.5 ~ 300 pF
- 遅延時間 0 ~ 20 秒 (オンディレイ)
- 出力接点定格 AC 230 V 3 A 抵抗負荷
- 使用周囲温度 - 10 °C ~ + 70 °C
- 検出器構造 防滴型
- 変換器構造 屋内接地型

〔標準〕

- 検出器 WL-S 2 型
- 重量 : 約 1 kg

